

## IV. 鑑賞パスポート・チケット

『ひろしま国際建築祭 2025』では、6つの有料展示会場を巡回できる「鑑賞パスポート」を導入。

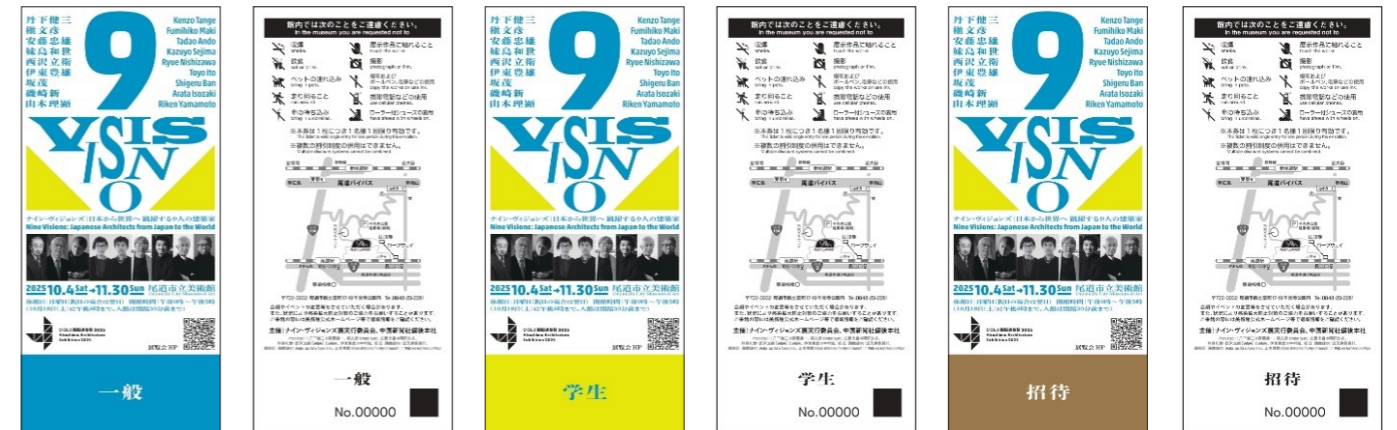
パスポートは3日間有効（連続使用）とし、電子・紙製チケットともにQRコードで入場管理を行った。販売はオンラインと窓口で実施し、高校生以下および障がい者とその同伴者1名はオンライン申請により全展示を無料とした。

また、尾道市立美術館の展示「ナイン・ヴィジョンズ」については、主催の「ナイン・ヴィジョンズ展実行委員会」（官民共同）の要望により、単館チケットを別途販売した。

## 券種・料金

区分	オンライン販売 [電子チケット/パウチャー]	窓口販売 [紙製チケット]
3Day 鑑賞パスポート (一般)	2,500 円	3,000 円
3Day 鑑賞パスポート (高校生以下)	無料	無料
3Day 鑑賞パスポート (障がい者)	無料	無料
特別招待券 [3Day 鑑賞パスポート]	—	無料
招待券 [3Day 鑑賞パスポート]	無料	無料
尾道市立美術館 鑑賞チケット (一般)	—	1,000 円
尾道市立美術館 鑑賞チケット (学生)	—	800 円
尾道市立美術館 単館 招待券	—	無料

## 尾道市立美術館 鑑賞チケット



一般 (表/裏)

学生 (表/裏)

招待券 (表/裏)

デザイン：榊原健祐 (Iroha Design)

## 鑑賞パスポート



表面 一般

高校生以下

障がい者

オンライン購入引換

裏面 共通



表面 特別招待券

招待券

裏面 共通

デザイン：UMA / design farm

## 販売期間

オンライン販売 2025年7月1日～11月30日  
※チケットぴあは、11月29日23:59まで販売

窓口販売・引換 2025年10月4日～11月30日  
※神勝寺 禪と庭のミュージアムは、10月5日より販売開始

## 販売箇所

オンライン販売 ArtSticker、チケットぴあ、コンビニエンスストア端末  
窓口販売・引換 神勝寺 禪と庭のミュージアム、JR福山駅南口キオスク、尾道市立美術館、ONOMICHI U2、LOG

	販売代理店	オンライン販売	窓口販売・引換
オンライン	ArtSticker チケットぴあ	QRコード発行(端末) 引換票番号発行(コンビニ引換)	—
コンビニ等	チケットぴあ(Pコード: 995-590)	パウチャー	—
会場	神勝寺 禪と庭のミュージアム JR福山駅南口キオスク 尾道市立美術館	—	紙製チケット(鑑賞パスポート) 紙製チケット(鑑賞パスポート) 紙製チケット (鑑賞パスポート/鑑賞チケット)
	ONOMICHI U2 LOG	—	紙製チケット(鑑賞パスポート) 紙製チケット(鑑賞パスポート)





## V. 公式グッズ・クラウドファンディング・ ふるさと納税・スポンサー協賛

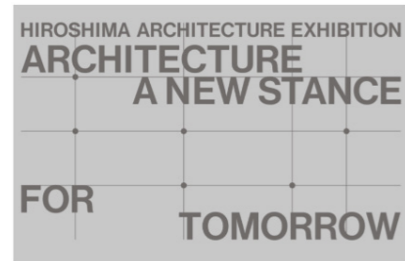
『ひろしま国際建築祭 2025』に合わせて、Tシャツ、トートバッグ、ハンカチ、鉛筆、ノートなどをオリジナルで制作、公式グッズとして会場で販売し展示運営費に充てた。また、出展建築家の関連書籍、出展建築家が選定した建築関連商品なども公式グッズと共に販売を行った。

クラウドファンディングサイト「READYFOR」にて、クラウドファンディングを実施、サポーター向けのオリジナルの返礼品なども制作し、『ひろしま国際建築祭 2025』の周知と賛同を図ると共に資金調達を行った。またふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」を活用した資金調達も実施した。

## 公式グッズ

グラフィックデザイナーの樋口舞子氏がデザインした公式グッズを販売。建築祭タイトルの「Architecture: A New Stance for Tomorrow」を用いたロゴデザイン。Tシャツ、縦織網サコッシュバッグ、トートバッグ、ハンカチ、HB えんぴつ、測量野帳、ステッカーなど計20アイテムを展開した。

### 公式グッズ ロゴ



ロゴ・デザインは、グリッドを構成しグラフィックを展開した。グリッドは、瀬戸内海の水平線や建築の設計図面・鉄筋・金属など、瀬戸内と建築の要素から着想を得ている。

- ・キーカラー：群青色（海・波風の揺らぎ）×シルバー（建築資材）
- ・ロゴタイプ：水平線×軸線と点×揺らぎ

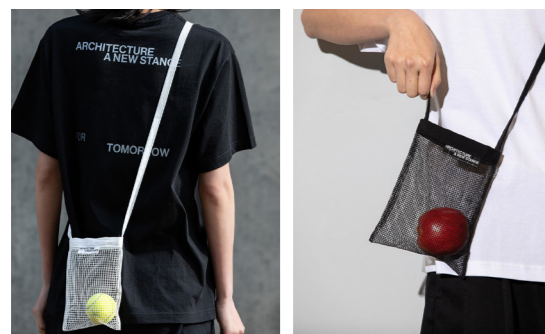
ロゴデザイン 樋口舞子 / グラフィックデザイナー（オランダ・アムステルダム在住）

販売場所 神勝寺 禅と庭のミュージアム、尾道市立美術館、ONOMICHI U2、LOG、広島 T-SITE | 蔦屋書店



Tシャツ Grid T-shirt 各4,400円  
[色] white / blue [サイズ] S / M / L

Slogan T-shirt 各4,400円  
[色] white / black / blue [サイズ] S / M / L / XL



縦織網サコッシュバッグ 1,650円  
[色] white / black



トートバッグ 各2,800円  
[色] white / brown / gray / blue



ハンカチ 各1,650円  
[色] LOG / U2 / 神勝寺 / 瀬戸内海



HB 鉛筆 130円 [色] white



ステッカーセット(3枚) 1,250円



測量野帳 各1,200円 [色] white / gray / black

## オフィシャルブック

『ひろしま国際建築祭 2025』全体を網羅した記録集的な書籍と、「ナイン・ヴィジョンズ」展示の書籍の発行を予定している。



### Architecture: A New Stance for Tomorrow 「建築」で未来は切り拓けるか？

発行日	2026年夏発行予定
判型等	B5変形 192ページ(予定)
販売額	3,500円(国内大型書店、Amazon等で販売)
著者	神原・ツネイシ文化財団編
アートディレクション	榊原健祐 (Iroha Design)
発行元	エシェル・アン



### Nine Visions: Japanese Architects from Japan to the World なぜ日本の建築家は世界から高く評価されているのか。

発行日	2026年5月末予定
判型等	A5変形 205ページ
販売額	3,801円(国内大型書店、Amazon等で販売)
著者	神原・ツネイシ文化財団編
アートディレクション	榊原健祐 (Iroha Design)
発行元	エシェル・アン

## クラウドファンディング

クラウドファンディングサイト「READYFOR」にて、クラウドファンディングを実施、サポーター向けのオリジナルの返礼品なども制作し、『ひろしま国際建築祭 2025』の周知と賛同を図ると共に資金調達を行った。またふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」を活用した資金調達も実施した。



返礼品希望の支援者全員に応援バッジを配布



ナイン・ヴィジョンズ建築家 8 組 9 人  
[ 画家・宮沢洋氏 作画 ] の  
ポストカードセット ( 非売品 ) を提供

実施期間	2025年7月4日(金)～9月5日(金)
運営サイト	READYFOR
[ 実施結果 ]	
調達金額	3,263,000 円
支援者数	83 人

## ふるさと納税

本建築祭を通じた、地域の建築文化の発信とまちづくりへの関心を高めることを目指し、より多くの方に地域の魅力と建築祭を発信していくための財源確保の手段として、ふるさと納税制度を活用した。



個人向け ( 運営 ) ふるさとチョイス



企業向け ( 運営 ) 福山市

[ 実施結果 ]	個人向け 調達額 30,000 円 [ 納税額 102,000 円 ]	支援者数 4 名
	企業向け 調達額 4,000,000 円	支援企業数 8 社

## スポンサー協賛

地元企業を中心に、企業の社会貢献活動の一環として、地域社会および文化価値向上への取り組みに対する支援を呼びかけた。協賛内容に応じて、展示会場での企業名掲出や、設計・イベント計画に企業のアイデア採用や意向を反映するなど、支援企業のブランド価値向上にもつながる施策を実施した。

### 協賛展示・イベントへの企業名の掲出



### 支援企業の事業との関連・想いを採用したキオスク





## VI. 運営

福山市・尾道市内の7会場と、JR福山駅南口キオスク及びONOMICHI U2前オリーブ広場キオスクにスタッフを配置し、来場者への案内や誘導、作品看視等を行った。

福山市内と尾道市内に1名ずつ会場統括者を配置し、スタッフの取りまとめや巡回によるトラブル対応、鑑賞パスポートなどのチケット類・グッズ補充など運営全般を統括した。

ボランティアスタッフは、来場者との接点を持てるよう、展示会場での作品看視や案内、誘導を中心に担当した。

## 会場運営

来場者がより快適に鑑賞できるよう各会場の特性に応じて、会場案内や誘導、作品看視、販売、情報提供を行った。

	鑑賞時間	チケット販売	グッズ販売	インフォメーション
[福山] 神勝寺 禅と庭のミュージアム	9:00~16:00	○	○	○
[福山] ふくやま美術館 ギャラリー	9:30~17:00	—	—	—
[福山] JR 福山駅南口キオスク	9:00~16:30	—	—	○
[尾道] 尾道市立美術館	9:00~17:00	○	○	○
[尾道] LOG	11:00~17:00	○	○	○
[尾道] LLOVE HOUSE ONOMICHI	10:00~17:00	—	—	—
[尾道] まちなか文化交流館「Bank」	10:00~18:00	—	—	—
[尾道] ONOMICHI U2	10:00~17:00	○	○	○
[尾道] ONOMICHI U2 前キオスク	10:00~17:00	—	—	—



スタッフ証



スタッフユニフォーム

## ボランティアスタッフ

ボランティアスタッフの募集は、主に『ひろしま国際建築祭 2025』公式ホームページや SNS を通じて行ったほか、建築家が指導する大学等の学生にも呼びかけを行った。また、協賛企業からは社会貢献活動の一環として、従業員のボランティア参加があるなど、多様な参加者を得ることができた。

登録者人数	84 名
実働稼働者数	58 名
性別	男性 17 名 女性 41 名
居住地内訳	福山・尾道市 31 名 / 2 市以外県内 14 名 / 中国地方 2 名 関西 3 名 / 関東 8 名



### 募集概要（抜粋）

#### 活動内容

- 展示会場運営全般（案内、受付、作品看視、片付け等）
- イベントサポート（案内、受付、会場設営・撤収等）
- その他、運営に付随する補助業務

#### 応募資格

- 建築祭の趣旨を理解し、積極的に活動できる方
- 高校生以上であり、日本語でのコミュニケーションが可能な方
- 建築祭期間中に 3 日以上、原則 1 日 8 時間の活動が可能な方

### ボランティアへの支援措置及び参加促進策の実施

ボランティアスタッフには、活動に伴う交通費等の負担に配慮し、1 日（1 回）の活動に対し 1,000 円分の金券を支給した。また、ボランティア活動の初回時には、建築祭を理解しながらより楽しんでもらえるよう鑑賞パスポートを配布すると共に、活動中に身に付けられるオリジナル・サコッシュを無料で提供した。



金券は、建築祭滞在中に活用してもらえるよう、展示会場である ONOMICHI U2 および LOG で利用できるものとした。

## ボランティアスタッフ説明会

ボランティアスタッフ説明会では、開催趣旨や運営方針、安全管理の共有および各業務手順等の統一を目的として、対面で2回、オンラインで1回実施した。オンライン説明会の内容については後日 YouTube に掲載し、指定日に参加できなかった方や説明日以降に新規申込みのあった方も視聴できるようにし、情報周知を図った。

第1回説明会	
日時	2025年9月21日(日) 18:00~19:00
開催形式	対面
場所	県民文化センター文化交流室1(福山市)
第2回説明会	
日時	2025年9月22日(月) 19:30~20:30
開催形式	オンライン
場所	オンライン
第3回説明会	
日時	2025年9月23日(火・祝)15:00~16:00
開催形式	対面
場所	iti SETOUCHI(福山市)

## ボランティアスタッフ研修

活動前研修として、開幕直前の10月3日に総合ディレクターによる解説のもと、福山市内および尾道市内の各会場をバスで巡回し、展示の意図や背景について学ぶ機会を設けた。

ボランティアスタッフ研修ツアー	
開催日	2025年10月3日(金)
行程表	8:30 JR福山駅 集合/出発 9:30~11:00 神勝寺 禅と庭のミュージアム 見学 11:45~13:00 ONOMICHI U2 見学~(各自昼食) 13:30~14:30 尾道市立美術館 見学 LOG~LLOVE HOUSE ONOMICHI 見学 JR尾道駅 解散
ガイド	総合ディレクター白井良邦

## 連絡及び伝達方法

管理責任者をはじめとする『ひろしま国際建築祭2025』スタッフおよびボランティアスタッフ間の連絡手段としてLINEを活用し、日々の報告や問題発生時の対応方法を共有した。また、各会場にはスタッフ専用の引継ぎノートを設置し、伝達事項を記録することで、スタッフ間での確実な申し送りを行った。

## VII. 広報・コミュニケーション

2025年が初開催となった〈ひろしま国際建築祭〉を広く国内外に発信するため、広報・コミュニケーション活動を行った。具体的には開催1年前となる2024年11月に東京で記者発表会を開催したことを皮切りに、13回のプレスリリース配信、2回の現地ツアーなどを通じ、メディアに働きかけた。

海外に向けては、『designboom』『Dezeen』という2つの建築・デザイン系ウェブ媒体とメディアパートナー契約を締結すると共に、日本在住の海外媒体のライターをメディアツアーに招聘し記事化してもらうことで、海外の建築・デザインに関心のある層に向けて情報発信を行った。

一般向けには、公式ホームページを日本語・英語で立ち上げ、プレスリリース以外にも情報告知をすると共に、公式SNS(Instagram,Facebook,X)により、日本語・英語の2か国語で情報発信を行った。

## 媒体露出

新聞・テレビ・雑誌・ウェブサイト等のメディアで『ひろしま国際建築祭 2025』が多数取り上げられた。

媒体	ウェブサイト等			雑誌			新聞	テレビ	ラジオ	総計
	国内	海外	合計	国内	海外	合計	国内	国内	国内	
媒体数	326	14	340	27	1	28	14	7	2	392
掲載件数	922 件	21 件	943 件	33 件	1 件	34 件	36 件	11 件	3 件	1,028 件

※対象期間：2024 年 11 月 8 日～2026 年 2 月 15 日まで

## 新聞・雑誌等の主な報道記事（抜粋）

新聞・雑誌・オンラインマガジン等で取り上げられた主な見出しと記事を紹介する。

◎ **建築祭、対話・思考促す場へ 全国で盛ん、「ひろしま」初の試み**  
（日本経済新聞 2026 年 11 月 7 日）

日本で初めて現代建築に焦点を絞った「ひろしま国際建築祭」が 30 日まで、広島県で開催中だ。地域活性や文化財活用の潮流を背景に建築祭は全国で勃興しており、建築を見るだけでなく「考える」「体験する」文化として広がりがつつある。

◎ **（視線）ひろしま国際建築祭、未来へ種まき 福山と尾道で初開催**  
（朝日新聞 2025 年 11 月 12 日）

小さく産んで大きく育てる―。3 年に 1 度開催予定で、この秋初めて、広島県福山市と尾道市の 7 会場を中心に開かれている「ひろしま国際建築祭」を見ると、そんな印象を受ける。3 年後、あるいは 6 年後、どんな国際建築祭に育っているのだろうか。

◎ **建築家が示す「新しい未来」福山と尾道でひろしま国際建築祭**  
（中国新聞 2025 年 10 月 27 日）

巨匠から若手まで 23 組の建築家たちを紹介する初の「ひろしま国際建築祭」が福山市、尾道市の 7 会場で開かれている。各地を巡ってもらう仕掛けで、建築による「新しい未来」を提示している。

◎ **「つなぐ」テーマに建築の未来体験 「ひろしま国際建築祭」初開催**  
（読売新聞 2025 年 11 月 5 日）

広島から優れた建築文化を発信する祭典「ひろしま国際建築祭」が今年、新たに始まった。初回は、広島県福山、尾道両市を中心とした 7 会場で建築家ら 23 組が参加。伝統と革新が交差する日本建築界の勢いと、建築の未来を体感する機会となっている。

◎ **「ひろしま国際建築祭 2025」初開催で 20 万人が熱狂。尾道・福山で巡る安藤忠雄、坂 茂ら建築界レジェンドの展示の数々**  
（suumo ジャーナル 2026 年 1 月 13 日配信）

第 1 回のひろしま国際建築祭では、尾道市と福山市を舞台に、街中や山間部で建築文化の多様な面に触れる展示が展開されました。この機会で見かけることのできない展示やキオスクの制作によって、日本各地、あるいは海外からも建築好きが広島を訪れ、地域の魅力を発見する機会になったのではないのでしょうか。建築家が取り組むテーマは多岐にわたります。特に近年ではサステナビリティやコミュニティ、災害復興など一般の人にとっても身近なテーマに長く取り組む建築家も多く、今回の建築祭でもそうしたプロジェクトが紹介されました。建築家がそうした社会問題にどのように向き合い、建築を通して提案を行っているのかを知ること、仕事や家庭生活を送るうえで新しい気づきを得られることでしょう。

◎ **「ひろしま国際建築祭 2025」開幕レポート。建築文化の集積地で感じる新しい未来の姿**  
（美術手帖 Web 2025 年 10 月 6 日）

広島県福山市、尾道市を中心に、世界的に活躍する著名建築家や未来を担う若手建築家総勢 23 組が参加する、建築文化の祭典「ひろしま国際建築祭 2025」が開幕した。初開催となる今年の会期は 10 月 4 日～11 月 30 日。総合ディレクターは白井良邦、チーフ・キュレーターは前田尚武。本建築祭の総合ディレクター・白井は、次のように語る。「構想から約 10 年をかけて実現した本建築祭。大阪・関西万博 2025、瀬戸内国際芸術祭 2025、岡山芸術交流 2025 の開催、そして戦後 80 年にあたる節目の年でもある今年に、どうしても開催したいという思いがあった。何を指針に生きていけば良いかが不明瞭ないまだからこそ、建築という切り口から、未来をともに考えていく機会をつくりたい。また日本だけでなく世界に開かれた建築祭として、今後も長く続いていくようなものとなることを目指したい」。日本で初めてとなる国際的な建築祭の開催。広島を中心とした瀬戸内というエリアを舞台に、今後どのような展開を見せていくのか要注目だ。

◎ **21 組の建築家が集結する『ひろしま国際建築祭 2025』全容決定！**  
（Casa BRUTUS 2025 年 7 月 11 日）

第 1 回『ひろしま国際建築祭 2025』の 10 月開幕まで 3 か月を切り、展示の全容がほぼ発表となった。全国でも類を見ない本格的な建築祭の第 1 回は日本人プリツカー賞受賞者や丹下健三自邸再現から若手建築家まで、総勢 21 組の建築家をフィーチャーする。『ひろしま国際建築祭 2025』の総合ディレクターを務めるのは元『Casa BRUTUS』副編集長の白井良邦。チーフキュレーターは〈森美術館〉や〈京都市京セラ美術館〉で美術展・建築展の展示デザイン・企画を手掛けてきた前田尚武。新旧の日本の名建築をさまざまな角度から再発見する試みは、国内のみならず海外からも注目が集まっている。この秋は充実した建築旅に繰り出したい。

※記事が掲載された雑誌の発売時点では、出展建築家・作家は 21 組とプレス発表されていた。

◎ **ひろしま国際建築祭 2025**  
（家庭画報 2025 年 7 月号）

今年からスタートする、建築をテーマとした 3 年に一度の芸術祭。記念すべき第 1 回は、建築界のノーベル賞と呼ばれるプリツカー賞を受賞した日本人建築家 9 名と丹下健三自邸復刻を中心に、トークイベントや展示が行われます。

◎ **日常と非日常を開く建築**  
（新建築 住宅特集 2025 年 12 月号）

建築祭は、美術館での集まり整った展示に加え、街中でも展開もあることで、そこでしか起きない偶然に出会えることも魅力のひとつだ。本建築祭ではそれぞれが建築展示としての独自性と魅力があったことから、3 年後の展開に期待が高まる。非日常としてただ建築を開放するだけではなく、日常にささやかに入り込んだ展示という非日常が作られている点で建築の活用可能性が示され続けると良いだろう。また、今回神勝寺で展示されていた、福山で再現が予定されているという丹下健三の自邸「成城の家」が数年後に会場になることも期待できる。過去と未来を繋げ、可能性を広げていく意志が現れている建築祭だった。

◎ **瀬戸内に根差した建築でつながる 58 日間の祭典**  
（商店建築 2026 年 1 月号）

2025 年 10 月から 11 月に掛けて、広島県福山市と尾道市を舞台に、「ひろしま国際建築祭」が初開催された。「つなぐ-「建築」で感じる、私たちの“新しい未来”」をテーマとし、子どもから大人まで幅広い人々が建築に触れ、未来の社会を考えるきっかけをつくることを目指したイベントだ。国内外から延べ 20 万人が訪れ、7 会場で 23 組の建築家・作家による多彩な展示を楽しんだ。今後は 3 年に一度の開催が予定されている。

**速報ひろしま国際建築祭！ 全員が主役の異色展「ナイン・ヴィジョンズ」は必見、プレミアトークには伊東豊雄・石上純也らが登壇**  
（BUNGA NET 2025 年 10 月 6 日配信）

普通、こういうものは「主役級 1 人を取り上げる」か「流れを描くために複数人を取り上げる」のどちらかで考えるものである。こんな「全員が主役」「序列は NG」みたいな展示会をやろうと思う人は少ないだろう。（中略） それぞれが膨大なコンテンツをもつ巨匠たち。それぞれに任せておけば、狭い部屋にぎゅうぎゅうに詰め込んだ印象になってしまうだろう。だが、どの展示もゆったりと見ることができた。そして、各人の見せ方やテーマが被っていない。だから、各人の展示が記憶に残る。

## テレビ・ラジオ出演

テレビ・ラジオ等の放送媒体で取り上げられた番組等を紹介する。

2025年1月15日(水)	artscape「ミュージアム外のインターネットラジオ」 出演：キュレーター / 筒井彩
2025年8月21日(木)	RCC ラジオ「まるっと日常ワイド えんまん。」 出演：キュレーター / 筒井彩、香村ひとみ
2025年9月23日(火)	NHK 広島「お好みホリデー」 出演：出展建築家 / 川島範久
2025年10月1日(木)	エフエムふくやま「イブニングステーション」 出演：総合ディレクター / 白井良邦
2025年10月1日(水)	ちゅび com「記者の視点」 出演：中国新聞備後本社代表 / 武河隆司
2025年10月11日(土)	RCC テレビ「ニュース」 出演：総合ディレクター / 白井良邦
2025年10月13日(月)	日本テレビ「NEWS NNN」 出演：出展建築家 / 坂 茂
2025年11月6日(木)	RCC ラジオ「まるっと日常ワイド えんまん。」 出演：キュレーター / 香村ひとみ
2025年11月8日(土)	RCC ラジオ「柳沼淳子のちょっと小耳に」 出演：柳沼淳子
2025年11月9日(日)	RCC テレビ「イマナマ」 出演：総合ディレクター / 白井良邦
2025年11月11日(火)	ひろしまホームテレビ イメージ画像
2025年11月13日(木)	2025年11月13日(木) エフエムふくやま「GO！GO！Bびんご～」 出演：総合ディレクター / 白井良邦
2025年11月14日(金)	NHK 広島「ニュース」 出演：総合ディレクター / 白井良邦
2025年11月24日(金)	RCC テレビ「ニュース」 ※藤井厚二特集
2025年11月27日(月)	NHK 島根「ニュース」 出演：総合ディレクター / 白井良邦
2025年11月28日(火)	NHK 岡山「ニュース」 出演：総合ディレクター / 白井良邦

## プレスリリース

2024年11月の記者発表会から、2025年12月の閉幕まで計13本のプレスリリース（日本語・英語）を行った。プレスリリースはPR TIMESを通じて配信したほか、各媒体や記者、インフルエンサー等にメールで配信した。なお、配信されたプレスリリースはすべて公式ホームページ「NEWS」ページから閲覧することができる。

2024年11月8日(金)	ひろしま国際建築祭 2025 開催
2025年6月4日(水)	ひろしま国際建築祭 2025 全 21 組の建築家・作家の展示概要決定
2025年7月1日(火)	鑑賞パスポート販売開始
2025年7月4日(金)	クラウドファンディング・ふるさと納税募集開始
2025年8月19日(火)	堀部安嗣、中山英之による「移動型キオスクー小さな建築」立ち上げ
2025年9月3日(水)	著名建築家によるトークイベント&ワークショップ開催
2025年9月4日(木)	ボランティアスタッフ募集
2025年9月18日(木)	石上純也による「移動型キオスクー小さな建築」JR 福山駅に誕生
2025年9月19日(金)	堀部安嗣・藤本壮介・石上純也・長坂常・名和晃平と共に過ごす 「夢のクラファン」特別支援プログラム申し込み開始
2025年10月4日(土)	ひろしま国際建築祭 2025 本日開催
2025年10月22日(水)	子どもの五感を（Catch）する秋の収穫カーニバル『Catch the Fall』開催
2025年11月4日(火)	「ナイン・ヴィジョンズ   日本から世界へ跳躍する9人の建築家」展で入場者1万人超え
2025年12月1日(月)	ひろしま国際建築祭 2025 来場者延べ20万人超え。次回開催は2028年秋

## 記者発表会

日 時：	2024年11月8日(金) 10:30～11:45
会 場：	国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール（東京都港区六本木5-11-16）
内 容：	総合ディレクターの白井良邦とチーフキュレーターの前田尚武が『ひろしま国際建築祭2025』の開催目的、展示概要などを説明したほか、ゲストスピーカーに建築家、伊東豊雄氏を迎え、瀬戸内エリアでの建築祭開催の意義などを建築家としての足跡と照らし合わせて講演。司会は草野満代氏。記者発表会後には隣接会場にて関係者と意見交換を行う懇親会も実施。

参加メディア数： 54名（会場：45名 オンライン：9名）  
関係者 46名（会場：33名、オンライン：13名）



## メディアツアー

### メディアツアー 1

日時： 2025年10月4日(土)～10月5日(日)  
 会場： ふくやま美術館ギャラリー、神勝寺 禅と庭のミュージアム、尾道市立美術館、LOG、LLOVE HOUSE ONOMICHI、まちなか文化交流館「Bank」ONOMICHI U2、iti SETOUCHI  
 内容： 影響力のあるメディアの編集長をはじめ、エディター・ライターをオープニングレセプション、建築祭の内覧会に招聘し、各展示を案内すると共に、出展建築家による講演会に招待した。  
 参加者数： 12名(媒体数10)



### メディアツアー 2

日時： 2025年10月9日(木)  
 会場： JR福山駅南口、ふくやま美術館ギャラリー、神勝寺 禅と庭のミュージアム、ONOMICHI U2、尾道市立美術館、LOG、LLOVE HOUSE ONOMICHI、まちなか文化交流館「Bank」  
 内容： 全国紙、地元紙をはじめとした新聞メディアをはじめ、雑誌のフリーランスライター等を招聘し、各展示会場を巡り、説明を行った。  
 参加者数： 22名(媒体数22)



## 広報用制作物

### メインビジュアル / 三連ポスター (B2サイズ)



デザイン：UMA / design farm

### フライヤー (A4サイズ)



デザイン：UMA / design farm

### 名刺型フライヤー



デザイン：UMA / design farm

### 尾道市商店街ターポリン



デザイン：UMA / design farm

展示『ナイン・ヴィジョンズ』  
ポスター (B2 サイズ)



デザイン：榎原健祐 (Iroha Design)

展示『ナイン・ヴィジョンズ』  
フライヤー (A4 サイズ)



デザイン：榎原健祐 (Iroha Design)



ワークショップ・フライヤー  
(A4 サイズ)



デザイン：小熊千佳子

トークイベント・フライヤー  
(A4 サイズ)



デザイン：小熊千佳子



連携活動 (行政)

2025年9月4日(木)	福山市記者クラブ説明会 会場：福山市役所
2025年9月16日(火)	尾道市市長会見 会場：尾道市役所
2025年10月18日(土)	ひろしまたてものがたり連携記念講演会 Vol.1 「瀬戸内海に築かれた文化：戦後建築の軌跡とその現在」 会場：広島県立歴史博物館講堂
2025年10月26日(日)	ひろしまたてものがたり連携記念講演会 Vol.2 「瀬戸内海に築かれた文化：戦後建築の軌跡とその現在」 会場：ふくやま美術館ホール
2025年11月18日(火)	福山市市長 ふくやま美術館展示案内 会場：ふくやま美術館 ギャラリー

尾道市・広報誌へのPR掲載



広報おのみち 2025年9月号

広島県「たてものがたり」パンフレット広告掲載



ひろしま たてものがたりフェスタ 2025 イベントガイドブック

連携活動 (民間)

2025年5月24日(土)	「日本建築祭まつりー私たちの「建築祭」を語り合う」登壇 登壇者：チーフキュレーター／前田尚武 会場：日比谷 OKUROJI 主催：東京建築祭実行委員会
2025年8月11日(月)	「会員限定ライブ配信」にて『ひろしま国際建築祭 2025』登壇 登壇者：総合ディレクター／白井良邦 主催：建築祭オフィシャルクラブ
2025年9月15日(月)	「Nishi Nippon ARTrail 2025 トークショー」登壇 登壇者：総合ディレクター／白井良邦 会場：EXPO 酒場 キタ本店 主催：JR 西日本 SC 開発
2025年9月24日(水)	「建築鑑賞のススメ / 文化観光資源としての建築」登壇 登壇者：チーフキュレーター／前田尚武 会場：大阪北部コミュニティカレッジ
2025年10月4日(土)～11月26日(水)	【広島 蔦屋書店】ひろしま国際建築祭 2025 フェア出展 会場：HIROSHIMA T-SITE / 蔦屋書店 2号館 1F マガジンストリート
2025年10月13日(月)	「会員限定ライブ配信」にて『ひろしま国際建築祭 2025』出演 出演者：総合ディレクター／白井良邦 チーフキュレーター／前田尚武 主催：建築祭オフィシャルクラブ

## 中国新聞への広告掲載

丹下健三  
槇文彦  
安藤忠雄  
妹島和世  
西沢立衛  
伊東豊雄  
坂茂  
磯崎新  
山本理顕

Kenzo Tange  
Fumihiko Maki  
Tadao Ando  
Kazuyo Sejima  
Ryue Nishizawa  
Toyo Ito  
Shigeru Ban  
Arata Isozaki  
Riken Yamamoto

ナイン・ヴィジョンズ | 日本から世界へ 跳躍する9人の建築家  
Nine Visions: Japanese Architects from Japan to the World

2025.10.4 Sat → 11.30 Sun 尾道市立美術館  
Onomichi City Museum of Art

休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌日)  
開館時間 | 午前9時～午後5時(入館は閉館30分前まで)  
観覧料 | 一般1,000円、学生800円 ※小学生以下は観覧料200円 ※25歳未満は2025年度パスポートをお持ちの方は購入不要  
※尾道市立美術館10号展示室 ※高齢者以下のお子様を伴う場合は(予約)10分先着のり方法あり  
主催 | ナイン・ヴィジョンズ実行委員会、中国新聞出版株式会社  
会場 | 尾道市立美術館 〒722-0032 広島県尾道市西土堂町17-19(千光寺公園内) Tel.08-48-23-2281

## JR 西日本 JR 福山駅構内のデジタルサイネージでの告知

掲示内容：ポスターデータ

掲示期間：2025年9月25日～11月30日

## JR 西日本 JR 福山駅新幹線改札内待合所・

電光掲示板に建築祭開催内容表示

掲示内容：文字データ

掲示期間：2025年9月25日～11月30日

## JR 西日本 JR 尾道駅構内でのポスター掲示

掲示内容：メインビジュアル3連ポスター

掲示期間：2025年9月25日～11月30日

## 他の芸術祭との連携

- ・瀬戸内国際芸術祭 2025 相互に広報面で連携（フライヤー設置及び配布等）
- ・岡山芸術交流 2025 相互に広報面で連携（フライヤー設置及び配布等）

## 公式ウェブサイト

<https://hiroshima-architecture-exhibition.jp/>

展示、出展建築家、展示会場、各種イベント、ツアー、鑑賞パスポート購入方法などの情報を掲載したほか、プレスリリースをアーカイブし、随時見られるようにした。

## 公式 SNS

Instagram  
Facebook  
X

[https://www.instagram.com/hiroshima\\_arch\\_exhibition/](https://www.instagram.com/hiroshima_arch_exhibition/)  
<https://www.facebook.com/Hiroshima.Architecture.Exhibition/>  
[https://x.com/Hiroshima\\_Arch](https://x.com/Hiroshima_Arch)